

済生会福島総合病院新聞



二年組番
氏名



私たちは、六月二十四日〜二十六日の間、済生会福島総合病院で職場体験をしました。たくさんの方を見学して、そこで教えていただいたことを五つ紹介します。

薬局について

薬局には、劇薬、普通薬、毒薬、粉薬、外用薬の五つの種類の薬や、注射する薬がありました。私たちは疑似処方箋を使って薬を袋に入れる体験をしました。

一日何回で何日分かを計算して薬の数を考えるのが大変でしたが、楽しかったです。また、薬剤師さんは薬の種類をたくさん覚え、薬学部を卒業し、二年間研修をしなければならぬのであるのがとても大変なことがわかりました。

見学した場所

- ・医事管理課
- ・総務、会計課
- ・検査室、心電図室
- ・感染制御室
- ・放射線室
- ・健診室
- ・リハビリ室
- ・薬局
- ・外来
- ・相談室、入退院支援室
- ・OPE室
- ・透析室
- ・患者サポートセンター
- ・病棟

感染について

病院では、病原体による汚染を防ぐためにPPEという特別な衣服、器具を着ます。

PPEには、外科用マスク、N95マスク、手袋、エプロン、予防衣、アイガードなどがあります。これを見てみて、暑くてずっとはつけられないような感じだったので、どの季節でも着ている看護師さんたちはすごいと思えました。また、脱ぐときには汚染された部分に触らないよう気をつけて外しました。



手術について

手術室には、執刀医、助手、麻酔の先生、看護師がいて、看護師の中でも機械出し、先生に道具渡し、麻酔の介助、外回りの仕事があります。

手術で使う道具は、サプライという場所です。機械を使い熱で滅菌し、菌がない状態になります。

手術前はひじまで手を洗い、衛生管理がしっかりしていました。

手術中は患者さんが好きな音楽をかけてリラックスさせたり、あまりギスギスせず、柔らかい雰囲気だったので意外でした。

検査で使う道具について

血圧計
血圧を測るときに使うもので、巻くきつさは指が二本入るくらいにしました。血圧を測り終わったら患者さんに血圧を伝えま

す。

サーチレーション (SPO2)
血の酸素量を測るときに使うものです。

それぞれの正常値

血圧 100〜120

酸素量 95%以上

脈拍 60〜80回/分

《とろみがついた水》

私たちは、高齢者の方が誤嚥を防ぐために飲むとろみをつけた水やお茶を飲みました。とろみの濃さは薄め、中くらい、濃いめがありました。水だと粉っぽい味がして飲みにくかったです。

患者さんは「水じゃない!」というそうです。誤嚥を防ぐためですが、食事のたびにこれを飲むのは大変だと思いました。

体験を振り返って

三日間という短い間でしたが、とてもたくさんの方を教えていただいたり、仕事の大変さややりがいを知りました。また、患者さんと関わる時にはコミュニケーションが大切なこともわかりました。この経験を将来に活かしていきたいです。